※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２３

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	Bonjour Paris Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ピエールとユゴー［コンパクト版］（白水社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

テキストを活用しながら発音とつづり字の関係など発音の仕方を学んでいきます。簡単な文章を朗読できるようになりましょう。練習用のノートを作り、授業の中で繰り返し文を作り、一緒に会話練習をしていきます。ほぼ毎回、授業のなかで発表をしていただきます。

2　学習の到達目標

・日本語とは異なる言語である、フランス語全般についての知識を広く理解し、それについて関心を深めることを目標とする。
・伝えるべき内容を的確に表現するために、フランス語での語いや文法を正しく判断し、その語順を理解しながら自分の考えを表現できることを目標とする。
・フランス語の背景となる歴史や文化について、それのもつ多様性を捉えられるようにし、フランス語およびフランス語圏の歴史的文化的特色を理解しながら、コミュニケーションを図るよう努めることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	発音と綴り字の関係、母音、子音、など発音を学ぶ。日本語とフランス語との違いに気づき、これらの知識を理解すると共に、読むこと書くことに慣れ親しみ、聞くこと話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけるようにしている。	音声に親しんで学んだ基本的な語いや表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書くなどして、自分の考えを表現し、伝えることができる力を養うようにしている。	フランス語の背景にある文化に対して理解を深め、他者に配慮しながら主体的にフランス語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度を養うようにしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

1	1・2	発音と綴り字の関係(発音表記、音節、母音、子音、発音の変化のルール)	a:発音と綴り字の関係を理解している。 b:綴りを見て文章を朗読できる	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	3〜6	A は B である 私は･･･といいます 私は･･･歳です A は(場所)にある A は(時)に行く A は･･･を買う A はおいしい ･･･はどうですか？ ･･･には(予定)がある、いる	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
2	7〜8	A それとも B? どうして？なぜなら ･･･しに行く	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	9〜11	･･･している ･･･で･･･する ･･･できる	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
3	12〜14	どのように･･･するか ･･･のために･･･する ･･･に･･･をする ･･･した …したいと思う ･･･したことがある	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	15	私は･･･を学んで…が経った	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度